

JBAバイオエンジニアリング研究会講演会
「地域に根ざしたバイオマス利用技術の実用化
—LCAの視点で近未来の実用化を展望する」

日時: 2013年2月20日(水) 13:00~18:05(交流会18:15~19:30)
場所: 講演会—東京大学本郷キャンパス工学部2号館 212講義室(東京都文京区本郷7-3-1)
最寄駅 地下鉄: 丸の内線・都営大江戸線 本郷三丁目駅、南北線 東大前駅

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03_j.html

交流会—伊藤国際学術研究センター内 ファカルティクラブ

<http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/restaurantmap.pdf>

参加費: 講演会 JBA会員・協賛学会会員3000円、非会員10000円、学生無料
交流会 一般 4000円、学生1000円

主催: JBAバイオエンジニアリング研究会

協賛: 日本化学会、日本生物工学会、化学工学会バイオ部会(予定)

2012年度バイオエンジニアリング研究会では、LCAの視点で近未来に実装化(実プラント構築)可能なバイオマス利用技術・プロセスの開発の現状と課題に関するテーマで活動している。今回は、LCA、システムインテグレーションの視点から、バイオマス利用のための実用化プロセスの開発の現状と課題を展望して頂くような講演会をめざした。

プログラム

13:00-13:05 挨拶 バイオエンジニアリング研究会 会長 東京大学大学院工学系研究科 教授 長棟 輝行

13:05-14:05 「ベトナムでのバイオマスタウンにむけたJICA・JSTプロジェクト
~システムインテグレーションの視点から」(仮) 東京大学生産技術研究所 教授 迫田 章義

14:05-14:45 「各種バイオマスエネルギーのライフサイクルCO2排出量評価」
(株)三菱総合研究所 環境・エネルギー研究本部 グループリーダー 井上 貴至

14:45-15:25 「バイオマス利活用システム設計のためのモデリング要件」
東京大学 総括プロジェクト機構 「プラチナ社会」総括寄付講座 特任講師 菊池 康紀

15:25-15:45 【休憩】

15:45-16:15 「サトウキビからの砂糖-エタノール複合生産プロセスの研究開発」
アサヒグループホールディングス(株)豊かさ創造研究所 バイオエタノール技術開発部 部長 小原 聡

16:15-16:45 「バイオ燃料導入に際しての持続可能性評価の枠組み」
(独)産業技術総合研究所 安全科学研究部門 研究グループ長 玄地 裕

16:45-17:15 「農作物の有効利用と土壌の質に着目したライフサイクル評価」
立命館大学 理工学部環境システム工学科 助手 吉川直樹

17:15-17:55 パネルディスカッション

17:55-18:00 おわりに バイオエンジニアリング研究会 副会長 千葉大学大学院工学研究科 教授 関 実

18:15~19:30 交流会(伊藤国際学術研究センター内 ファカルティクラブ)

参加ご希望の方は、名前、会員種別(JBA会員/協賛学会会員、非会員、学生の別)、所属、連絡先、交流会参加の有無を、JBA・HP(www.jba.or.jp)にてお知らせ下さい。参加費は当日受付にてお支払い下さい。

参加申込み締切り: 2月18日(月)/申込み多数の場合は早めに締切ることがございます。

申込み・問合せ先: (一財)バイオインダストリー協会 バイオエンジニアリング研究会

(担当: 穴澤、矢田) TEL 03-5541-2731